

製造業において大幅な改善が見られる。

山口商工会議所では、管内中小企業100社を対象に景況調査を実施し、このほど令和7年10月～令和7年12月期実績と令和8年1月～令和8年3月期見通しについての調査結果(回答数79社、回答率79%)をとりまとめた。本調査は、3ヶ月毎に年4回行っている。

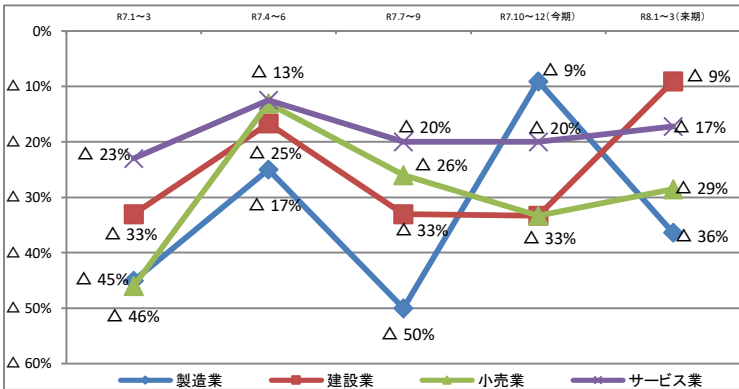
全業種のDI値に見る業況判断動向を前期と比較すると、前期の▲30%から▲25%とマイナス幅が少々減少した。業種別にみると、全業種において未だマイナスで推移しているが、製造業においては▲50%から▲9%と、大幅な改善が見られた。売上においてはサービス業を除く3業種で好転しており、特に製造業では▲46%から▲9%と大幅に向上した。また製造業は資金繰りについても▲46%から0%と、大幅な改善が見られた。産業別業況判断DIについて、製造業に大幅な改善が見られるが、来期見通しで▲36%になるなど、他の業種と比べて数値の変動が激しい。

新規設備投資について、今期中に設備投資を実施した企業は全体の18%、来期設備投資を実施予定の企業は11%であった。経営上の問題点については、製造業において原材料価格の上昇が2期連続で1位となっている。

◆業況DI値（今期の状況）

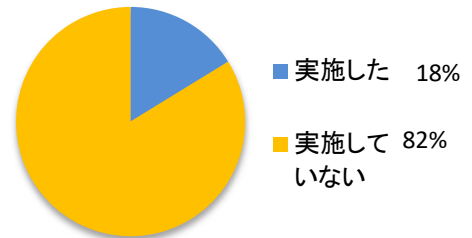
	業況判断	前回調査比	売上	前回調査比	資金繰り	前回調査比	仕入単価	前回調査比	経常利益	前回調査比	従業員数	前回調査比
全産業	△ 25%	↗	△ 18%	↗	△ 20%	↗	62%	↗	△ 32%	↗	△ 3%	↗
製造業	△ 9%	↗	△ 9%	↗	0%	↗	82%	↗	△ 27%	↗	0%	↗
建設業	△ 33%	→	△ 17%	↗	△ 17%	↗	58%	→	△ 25%	→	0%	↘
小売業	△ 33%	↘	△ 25%	↗	△ 25%	↘	67%	↗	△ 43%	↘	5%	↗
サービス業	△ 20%	→	△ 13%	↘	△ 21%	↗	50%	→	△ 27%	↗	△ 11%	↘

◆産業別業況判断DI（前3期からの推移と来期見通し）

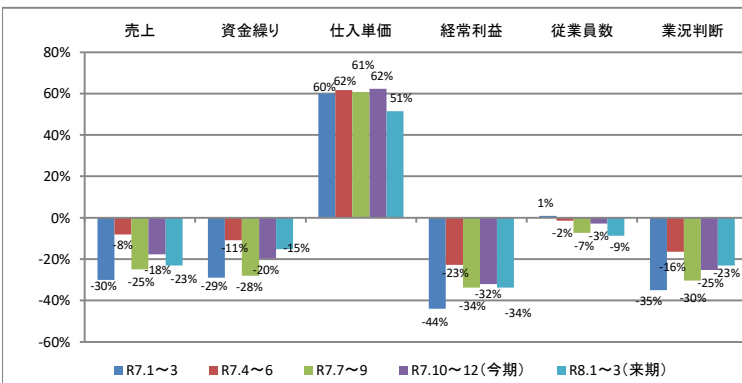


◆新規設備投資（今期実施・来期計画）

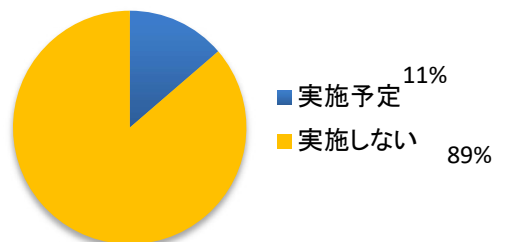
【今期設備投資】



◆全産業DI項目別比較（前3期からの推移と来期見通し）



【来期設備投資計画】



◆経営上の問題点

	製造業		建設業		小売業		サービス業	
1位	原材料価格の上昇	23.1%	官公需要の停滞	15.6%	仕入単価の上昇	17.0%	人件費の増加	14.8%
2位	製品ニーズの変化への対応	15.4%	材料価格の上昇	12.5%	需要の停滞	13.2%	材料等仕入単価の上昇	14.8%
3位	人件費の増加	15.4%	人件費の増加	12.5%	人件費以外の経費の増加	13.2%	利用者ニーズの変化への対応	12.3%

※DIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた値を示す。